

第28回 ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー

28th Seminar on Acari-Disease Interface

SADI 六甲山大会



WEB 開催期間：2021年9月10日(金)午後～9月11日(土)午後
WEB 配信センター：兵庫県神戸市北区 スペースアルファ神戸 中研修室

ご挨拶

第 28 回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー（SADI）のホストを務めさせていただきました兵庫医大皮膚科学の夏秋 優です。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大、緊急事態宣言の発出などにより、残念ながら SADI 六甲山大会は中止となりました。

一方で、ダニ関連の問題はコロナ禍と関係なく継続しており、関係者の間では情報交換する機会が切望されていたと思われます。SADI は現場主義を原則とするので、コロナ禍が落ち着けば、現地での開催が可能ではないか、と考え、当初は 2021 年 5 月の開催を目指しておりました。

しかし 2021 年になっても感染拡大が続いており、5 月開催は無理と判断しましたが、ワクチン接種なども進み、秋になれば感染状況が落ち着くのではないかと期待して、開催日程を 9 月に延期して計画を立て始めました。それでも、遠方よりの移動は困難な場合もあると思われましたので、現地での開催とオンラインでの開催を併用したハイブリッド開催を目指して準備を進めてまいりました。しかしながら、8 月に入ってデルタ株による感染状況がさらに悪化し、兵庫県も含めた多くの自治体で緊急事態宣言が発出されるに至り、基本的には完全 WEB 形式での開催しかない、と判断しました。

このような状況の中、短い演題募集期間にもかかわらず、多数の演題申込を頂戴いたしました。ホストとして心より御礼申し上げます。その反面、多くの演題を御発表いただくために、当初予定していなかった時間帯まで発表時間を拡大し、スケジュールがかなりタイトになってしまいましたことをお詫び申し上げます。

この 1 年間に、各種の学会や研究会で WEB 開催が導入されており、配信する側も視聴する側も、ある程度はその運用に慣れてきておりますが、通信上のトラブルも想定されます。手弁当による慣れない運営でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、約 2 年ぶりとなる情報交換の場ですので、どうぞ積極的にご参加いただき、オンラインでの議論を楽しんでいただきたいと思います。

2021 年 9 月吉日

兵庫医科大学皮膚科学 夏秋 優

第 28 回 ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー（SADI）六甲山大会

開催概要

ホスト：夏秋 優（兵庫医科大学皮膚科学）

日 程：2021 年 9 月 10 日（金）午後～9 月 11 日（土）午後

運営場所：スペースアルファ神戸 中研修室（3 階 1301 号） 〒651-1301 神戸市北区藤原台北町 4-27

TEL：078-981-9000 / FAX：078-981-8380 HP：<https://www.sa-kobe.jp/>

事務局アドレス：hi fu@hyo-med.ac.jp 兵庫医大皮膚科 第 28 回 SADI 事務局

ホストの連絡先：[☎663-8501](tel:0663-8501) 兵庫県西宮市武庫川町 1-1 兵庫医科大学皮膚科学

TEL 0798-45-6653 FAX 0798-45-6651

メールアドレス：natsuaki@hyo-med.ac.jp（ホストの大学アドレス）

日程表

2021年9月10日	12:00～	受付・WEB入室開始
	12:40～13:40	オープニングセッション (多村 憲先生を偲ぶシンポジウム)
	14:00～14:40	一般演題(1) マダニ関連
	14:50～15:30	一般演題(2) ダニ関連疾患など
	15:45～17:00	ワークショップ: 日本紅斑熱の疫学・臨床など
	17:20～18:20	ホスト歓迎講演
2021年9月11日	8:30～11:30	六甲山の日本紅斑熱発生地視察
	12:00～	WEB入室開始
	12:30～14:00	一般演題(3): マダニ関連
	14:15～15:30	一般演題(4): マダニ関連
	15:45～17:00	一般演題(5): マダニ刺症、その他
	17:00～	クロージングセッション、懇親会 (WEB形式)

大会に参加・視聴される方へ

- ① 参加費は無料です。予め参加申込をしていただいた方に、視聴用 URL をメールで配信します。視聴のみの参加申込は開催前日(9月9日)の13時までに大会事務局またはホストにメールでお願いいたします。(開催当日は対応できないので、ご了承ください。)
- ② WEB配信はZoomを用います。電波状態によって、動画など重いデータは配信できない場合があるためご配慮ください。また、PCやWEB環境によっては接続不可や中途切断が起こることもあります。ご自身のWEB環境を確認すると共に、Microsoft EdgeやGoogle Chromeなどのブラウザをお使い頂き、Zoomは最新版にアップデートしてください。(発表者はなるべく有線LANをご使用ください。)
- ③ 発表は各自の居住地・職場からでも、現地参集の場合でもWEBで行いますので、必ずご自身のPCをご用意ください。(現地では有線、および無線LANが利用可能です。)
- ④ 参加者を確認するため、Zoomの表示名は「姓名」をフルネームで入れて下さい。(変更するには、画面下部の「参加者」をクリックし、右側に表示される参加者一覧から自分のお名前のところで、右クリック、「詳細」→「名前の変更」と進めば変更できます。)
- ⑤ WEBで発表をされる場合、雑音をなるべく排除し、発表者の音声をしっかり拾うために、PC付属のマイクではなく、ヘッドセット(右図参照)の使用を強くお勧めします。(PC付属マイクで発表すると、音声が聞き取りにくくなります。)
- ⑥ ご自身の発表や質問の時以外は、オーディオをミュートにしてください。(Zoomの画面左下で操作、必要時にはミュート解除して発言。) 発言される場合は座長の指示に従ってください。



- ⑦ 発表される際には、ご自身のカメラをオフの状態にしてください。質疑応答の際にはカメラをオンにしてお話しください。
- ⑧ 発表者はすぐに画面共有できるように、ご自身のPCのデスクトップにパワーポイントのスライドを立ち上げて待機してください。なお、演題発表の際に、画面共有操作に自信がない、あるいは、失敗する恐れがある場合は、事前に事務局に発表用スライドをお送りください。（5MBを越えるデータを送る場合は予めホストにご相談ください。）
- ⑨ 各演題の発表時間は7分、質疑応答3分を予定しています。発表時間終了を知らせるベルはありません。PC操作でのタイムロスや通信トラブルも予想されますので、発表時間厳守で円滑な運営にご協力をお願いいたします。
- ⑩ 各セッションの最初の演題は、運営スタッフで座長をします。講演が終了した発表者は、次の講演の座長をお願いいたします。

◆**後抄録** 講演いただいた演題については、基本的に後抄録をお出しください。大会開催中から閉会后半月内に、1,000字以内の抄録を大会事務局 hi_fu@hyo-med.ac.jp 宛で送信ください。

その他

*スペースアルファ神戸へのアクセス

現地参加をされる方はスペースアルファ神戸 (<https://www.sa-kobe.jp/data/map.html>) のアクセスマップをご参照ください。お車の場合、カーナビ設定を「神戸市北区藤原台北町4-27」としてお越し下さい。高速道路の最寄り西宮北ICで、大阪方面からですとICを出てそのまま直進し、「藤原台北町6」の交差点を過ぎてすぐに左の側道を上ったところの「藤原台北町7」の交差点を左折。

400mほど進んで、「栗ノ木谷」の交差点でUターンをすればスペースアルファ神戸の入り口が左側に見えます。

なお、中央分離帯があるため、右折では入れません。
(右図の入り口が分かりにくく、迷う可能性があります。)



*宿泊

宿泊される場合は各自で手配をお願いします。スペースアルファ神戸に予め宿泊予約された方は1泊3食(弁当)付き13,000円です。部屋数にはまだ余裕がありますので宿泊希望の場合は直接お申し込み下さい。部屋はシングルのみで、素泊まりになります。キャンセルは9月6日までをお願いします。チェックインは15:00~22:00、チェックアウトは8:00~10:00です。なお、館内や近傍に飲食店はありますが、車があれば近隣で調達が可能です。

*感染対策

スペースアルファ神戸へ来られる場合は、新型コロナウイルス感染を極力防ぐため、予めワクチン接種を受けておいてください。なお、館内ではマスク着用、手指消毒、距離の確保、定期的な換気など万全の感染対策を実施します。食事は、宿泊される方は各自の部屋でおとりください。運営会場の中研修室でもお食事は可能ですが、「黙食」、「密の回避」にご協力ください。

プログラム

2021年9月10日（金曜日）

12:00～ 受付・WEB入室開始

12:35～ 開会の挨拶

12:40～13:40 オープニングセッション（多村 憲先生を偲ぶシンポジウム）

世話人：高田伸弘

S1) 馬原文彦：多村 憲先生の横顔

S2) 岩崎博道：つつが虫病との出会い

S3) 高橋 守：オリエンチアを持つツツガムシ

S4) 佐藤寛子：オリエンチアの検査法を振り返る

S5) 大橋典男：多村先生との思い出 -オリエンチア属への学名変更について-

14:00～14:40 一般演題（1）：マダニ関連

1) 北海道札幌市のマダニ相調査 -ヤマアラシチマダニ？-

日高正人、松山紘之、伊東拓也（北海道立衛生研究所）

2) 人への病原性が示唆されるマダニ共生細菌の検出および二酸化炭素誘引法による
日本産マダニ採集への挑戦

小方昌平（北海道大学大学院 国際感染症学院 病原制御学分野 寄生虫学教室）

3) 日本産マダニのゲノム整備—まずはミトコンドリアゲノムから

中尾 亮（北海道大学大学院 獣医学研究院 寄生虫学教室）

14:50～15:30 一般演題（2）：ダニ関連疾患など

4) 皮疹・発熱に対しテトラサイクリンが著効したリケッチア抗体陰性の1例

加藤朱利、高島真理（神戸百年記念病院 内科）、岡本真由美（同 皮膚科）、

藤田信子、藤田博己（北福島医療センター・リケッチア症研究所）、川上万里
（岡山済生会総合病院 肝臓病センター）

5) 高度炎症所見に対してテトラサイクリンが著効したベトナム渡航者の1例

川上万里（岡山済生会総合病院 肝臓病センター）、角田隆文（菊名記念病院

総合診療科）、藤田信子、藤田博己（北福島医療センター・リケッチア症研究所）

6) 保存血清の可能性

川上万里（岡山済生会総合病院 肝臓病センター）

7) 犬疥癬の1家族例

和田康夫（赤穂市民病院皮膚科）

15:45~17:00 ワークショップ：日本紅斑熱の疫学・臨床など

W1) 大阪府における日本紅斑熱の疫学解析

池森 亮、青山幾子（大阪健康安全基盤研究所）

W2) 石川県金沢市で発生した日本紅斑熱3症例について

及川陽三郎、村上 学（金沢医科大学 医動物学）

W3) 日本紅斑熱の治療を考える

岩崎博道（福井大学医学部附属病院 感染制御部）

W4) COVID-19 ワクチン後に罹患した日本紅斑熱2症例

和田正文（上天草市立上天草総合病院）

W5) 2000~2019年と2020年の伊勢赤十字病院における日本紅斑熱

坂部茂俊（伊勢赤十字病院 感染症内科・循環器内科）

17:20~18:20 ホスト歓迎講演

兵庫県六甲山系の日本紅斑熱

夏秋 優（兵庫医科大学 皮膚科学）

2021年9月11日（土曜日）

8:30~11:30 六甲山の日本紅斑熱発生地の視察

12:00~ WEB入室開始

12:30~14:00 一般演題（3）：マダニ関連

8) SFTSをモデルとしたマダニ媒介感染症対策における生態学的アプローチ

岡部貴美子、亘 悠哉、飯島勇人（森林総合研究所）、小峰浩隆（山形大学農学部）、
五箇公一、坂本佳子（国立環境研究所）、前田 健（国立感染症研究所）

9) どこにどんなマダニが多いのか？環境と野生動物との関係

小峰浩隆（山形大学農学部）、岡部貴美子、亘 悠哉、飯島勇人（森林総合研究所）

10) 北海道における新規オルソナイロウイルスによる急性発熱性疾患

松野啓太（北海道大学 人獣共通感染症国際共同研究所）

11) ミトゲノムおよびゲノムワイドー塩基多型を用いたフタトゲチマダニの繁殖系統間比較

尾針由真¹、草木迫浩大²、白藤(梅宮)梨可³、Wessam Mohamed Ahmed Mohamed¹、Mohamed Abdallah Mohamed Moustafa¹、Elisha Chatanga¹、松野啓太⁴、Stephen Barker⁵、野中成晃¹、中尾 亮¹（1 北海道大院 獣医・寄生虫、2 北里大・獣医・寄生虫、3 帯広畜産大・原虫病研究センター、4 北海道大・人獣・危機、5 クイーンズランド大学）

12) MaxEntモデルを使用した関東西部の潜在的マダニ生息分布の推定

土井寛大（日本獣医生命科学大学）

- 13) 北海道手売島のウトウから採取した *Ixodes* 属マダニの報告
田谷友里恵（北海道大学大学院 国際感染症学院寄生虫学教室）

14:15~15:30 一般演題（4）：マダニ関連

- 14) 原虫病研究センターにおけるマダニの累代飼育について
白藤梨可、佐藤成子、直正宗一郎（帯広畜産大学 原虫病研究センター）
- 15) 酪農学園大学野生動物医学センターWAMCに鑑定依頼された野生コムクドリと飼育ラッコにおけるダニ類
木村優樹、○浅川満彦（酪農学園大学 獣医学群）
- 16) マダニ展の実施状況および収集したマダニ科標本について
佐々木（高田） 歩（和歌山県立自然博物館）
- 17) タカサゴキララマダニの飽血若虫から成虫への脱皮
山内健生（帯広畜産大学）
- 18) おっと！レプトスピラ踏んでますよ
増澤俊幸（元 千葉科学大学 薬学部）

15:45~17:00 一般演題（5）：マダニ刺症、その他

- 19) ファイザー社 COVID-19 ワクチン接種による対象者血清抗体価の推移～間接免疫ペルオキシダーゼ（IP）法による評価
馬原文彦（馬原医院、馬原アカリ医学研究所）
- 20) 島根県におけるダニ媒介感染症の発生状況
藤澤直輝（島根県保健環境科学研究所）
- 21) コロナ禍で増えたダニ禍、推定有罪
高田伸弘（福井大学、医学野外研究支援会）
- 22) コロナ禍の大分県のマダニ刺症
安西三郎（安西皮膚科）
- 23) 野生動物の変遷—増えるホストと減るホスト
中本 敦（岡山理科大学 理学部動物学科）

- 17:00~ クロージングセッション、懇親会（WEB形式）**
（従来の形式を再現しつつ、意義のある情報交換会を目指します。）

表紙写真説明

- 上・・・六甲山の山並：兵庫医科大学病院1号館13階病棟からの眺め
下左・・・奥池：視察予定地の自然環境
下右・・・ヤマアラシチマダニ雌